

会員企業代表者各位

一般社団法人 日本自動車工業会
サプライチェーン委員会 委員長 熊倉 和生

一般社団法人 日本自動車部品工業会
総務委員会 委員長 齋藤 克巳

車載半導体の安定調達に向けて 新陳代謝促進による供給安定性向上を目的としたガイドラインの策定について

平素より、日本自動車工業会（以下「自工会」）および日本自動車部品工業会（以下「部工会」）の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

東日本大震災や火災事故、コロナ禍などを起因とした半導体の供給不足は、自動車生産そのものに大きな影響を及ぼしてきました。電動化や自動運転の進展により、半導体は今や自動車に欠かせない部品のひとつとなっており、昨今の自然災害も踏まえ、2024 年より、半導体の国際競争力確保をモビリティ産業 7 つの課題のひとつとして掲げ、これまで両会で検討を進めてきました。

この度、旧世代半導体の採用を避け、生産継続性の高い半導体の採用に努めていくことで、**半導体の新陳代謝を促進し、安定調達を実現するためのガイドラインを策定**いたしました。また、**自動車部品メーカー向けに、ガイドライン実行に向けた業務フローも併せて作成**しております。

半導体の安定調達の実現には、**自動車メーカーと自動車部品メーカーが本ガイドラインに則り、半導体メーカーとも密に情報連携することが必要不可欠になります**。会員企業の皆様におかれましては、本活動へのご理解を賜り、**ガイドラインの周知、徹底と各社並びに関係会社での主体的な取り組み**をお願い申し上げます。

今後も自工会・部工会は独占禁止法をはじめとした関係法規を遵守の基、協調して半導体の生産終了に伴う備えや災害など有事における BCP 対応が円滑に行えるよう、半導体情報を一括管理するためのデータプラットフォームを構築するなど、半導体の更なる安定調達に向けた施策を進めて参ります。

<ガイドライン概要>

1. 自工会ガイドライン

自動車メーカーは、新たな製品に電子電装部品（半導体・電気部品）を搭載（発注）する際には、自動車部品メーカーからの当該部品の供給情報を確認するため、量産開始時期等の情報を自動車部品メーカーに伝える。また、一度開発した電子電装部品を他製品へ流用（キャリア）する場合には、自動車部品メーカーに量産開始時期や企画モデルライフ※などの情報を伝えるなどの対応により、予期せぬ電子電装部品の生産終了（EOL）が発生しないよう、自動車・自動車部品・半導体メーカー間での円滑なコミュニケーションを図る。※企画モデルライフは、企画時の償却想定期間で、生産期間とは異なる。

2. 部工会ガイドライン

自動車部品メーカーは、平時より電子電装部品の供給性を確認・管理した上で、電子電装部品の新規開発時は供給継続性の高い部品を選定するよう努める。また、電子電装部品の流用（キャリア）や車両生産延長が発生した場合には、問題有無を自動車メーカーへ通知する。供給継続に懸念がある場合には、自動車メーカーと密にコミュニケーションを図り、経済合理性等も考慮の上、サプライチェーン維持に向けた方策を協議することにより、安定供給を実現する。

※8/27 に開催した「車載半導体の安定調達に向けた取り組みに関する説明会」のアーカイブ動画を部工会 HP より配信していますので、ご覧ください。 https://www.japia.or.jp/seminar/topics_detail109/id=5750